

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)
富山県高岡総合プール スポーツ振興課
- 2 施設所在地
高岡市八ヶ88-1
- 3 施設設置年度
平成6年度
- 4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。
- 5 施設概要
延床面積：5,724.05㎡ 鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
屋外プール (50m×9コース、飛込みプール)
屋内温水プール (25m×8コース・観覧席300席)
トレーニング室、会議室
- 6 指定管理者
公益財団法人富山県体育協会
- 7 指定期間
5年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
84,466	86,247	97,122	98,957	100,527

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
18,266	18,667	19,164	20,290	20,204

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
16,586	16,586	16,586	18,322	18,492

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・令和元年度は会議室利用者や定期券利用者の増加により利用者数が増加した一方、料金収入は例年並みとなった。
- ・引き続き、大会等の開催に左右されない個人や団体利用について、利用の少ない曜日・時間帯における利用促進を図るなど、利用者数・料金収入の増加に努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・令和元年度に、障害者の方や介護者などの利便性を図るため、多目的更衣室を設置した。
- ・平成30年度から、7・8月の開館日を月2度の定期清掃日を除き全日開館とするとともに、トレーニング室の開館時間を1時間延長した（21時まで⇒22時まで）。
- ・平成30年度から高岡総合プール、総合体育センター及び西部体育センターにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行った。
- ・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行った。
- ・平成27年度に新設したプール親子割引券のさらなる利用促進のため、平成30年度から回数券の発行を行った。
- ・平成30年度にホームページのリニューアルを行い、情報の充実を図った。
- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げ、閉館時間の延長に柔軟に対応した（繰上げ開館70件、閉館延長1件）。
- ・ホームページ上から利用者等からの質問、意見をメールで書き込みできるようにしているほか、施設利用者や自主事業参加者へのアンケート調査により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・障害者の方が利用しやすいように、パーキングパーミット制度を導入した。
- ・視覚障害者の方向けに音声案内装置や点字ブロックを設置しているほか、発達障害者の方を対象とした水泳教室の開催など、障害者の方が利用しやすい環境を整えた。
- ・職員研修を実施し、職員の資質向上を図り、サービスの向上に努めた。
- ・喫茶コーナーに水泳に関する雑誌コーナーを設置し、利用者サービスの向上を図った。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き、飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成30年度から個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定した。
- ・各種教室の受講募集チラシを作成し、周辺の約91,400世帯に新聞折込を実施するとともに、近隣企業にも配置を依頼した。
- ・スポーツフェスティバルを開催（9月16日）し、施設の無料開放のほか、各種体験や演技発表などを実施し、施設のPRと利用体験に努めた。
- ・四半期毎に広報誌を作成し、小中高等学校、官公庁、地域住民、近隣企業及び高岡市体育施設へ配布した。
- ・季節にちなんだ催し物として、七夕、クリスマスイルミネーションや、バレンタインデーとホワイトデーでの利用者へのチョコ等の配布を行い、利用促進を図った。
- ・ギャラリーに利用者の絵画・写真・書画等を展示し、館内の魅力創出を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：随時（イベント時（スポーツフェスティバル）に集中的に実施） 実施方法：利用者に配布、受付にアンケート用紙を設置
回答者数	回答者数：387人
結果	・施設設備 5段階評価 (5)44%、(4)42% 計86% ・職員の接客態度 5段階評価 (5)51%、(4)44% 計95% ・今後の利用 利用したい 65% 時々利用したい 33% 等 ・意見・要望等 もう少しマシンが増えるとうれしい、対応が丁寧 等
結果を踏まえた改善事項	・施設自体は老朽化しているが、引き続き更衣室、トイレ、プールの水等を清潔に保つ。 ・フリーウエイットのトレーニング指導を行うことで、満足度を高めるように努めた。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・エントランスホールに意見承り用紙を設置し、利用者の意見・要望の把握に努めた（年間を通じて実施）。
- ・ホームページ上から、利用者等からの質問、意見をメールで受付できるようにし、利用者ニーズの把握に努めた。

③ 主な苦情と対応

- ・トレーニング機器の独占時間が長い利用者がある。
→利用マナーについて館内掲示したほか、積極的な声掛け・指導を行った。
- ・プールサイドで転んでいる女性がいたので、対応していただきたい。
→注意喚起のための看板を設置した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・総合型地域スポーツクラブとの連携によるイベント「スポーツフェスティバル」を開催し、施設無料開放、各種体験行事を実施した。（1,244人参加）
- ・地元の春季大祭やクリーンデー（年3回）等のボランティア活動に積極的に参加し、地域住民との融和を図った。
- ・エコリサイクル活動として、使用済みの割りばしやペットボトルキャップを収集し、各リサイクル機関へ提供した。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・危機管理体制マニュアル、緊急時対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、日常点検から事故発生時・事後までの対応について職員に周知徹底している。
- ・日本赤十字社の資格を持つ講師を招き、水上安全法講習会を実施するとともに、心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、利用者の安全に努めている。また、定期的に職員による水上安全訓練を実施している。
- ・避難訓練を実施した（年2回）。
- ・プールの監視体制については、各監視台及び巡視者の監視区域を明確に定め、事故未然防止のため、プール排水口の始業前定期点検を実施した。
- ・トレーニング室の機器について、始業前点検を定期的実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・平成30年度から開館日の拡大や、新たな料金の設定、トレーニング室の利用時間の拡充等、新たな取り組みを始めており、引き続き一層のサービス向上、利用促進に努めてもらいたい。
- ・各種教室の募集チラシの周辺世帯への配布や、夏季を中心とした開館日、開館時間の弾力的な運用などの取り組みにより、利用者数、料金収入ともに増加傾向にあり、引き続き利用促進やサービス向上に積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・温水プールの水温管理については、光熱費等の削減を考慮しながら、適温を保ち快適な利用環境を提供していく必要がある。
- ・施設や設備、備品の老朽化が進んでいることから、引き続き県と連携を図りながら、利用者の安全を最優先に、優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
- ・SNS等を取り入れたリアルタイムでの情報提供等、情報発信の充実を図る必要がある。